

2011年 3月 16日

取引先各位

ジャパンホームシールド株式会社 営業統括部  
(担当：児玉、高梨)

## 東北地方太平洋沖地震に伴う業務対応のご案内

この度の大規模な地震災害により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

1日も早く復旧されますよう、お祈り申し上げます。

さて、弊社では、地震の影響もあり、本社の一部業務に支障が生じておりましたが、現在は平常通りの営業を再開しております。しかしながら、地震発生日以降、地震による建築現場の地盤への影響に関するお問合せが大変増えている状況です。

つきましては、地震による現場への影響に関して、下記の通り対応をさせていただきますので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 地盤調査実施後、地震による敷地変状（液状化、地割れ、陥没等）有無のご確認のお願い

地盤調査後の地震により、敷地に変状（液状化、地割れ、陥没等）がある場合、基礎を含めた建物の施工に不具合が生じる可能性があります。今後、お施主様に安心して住んでいただくため、施工を進められる前に、添付の「地震後の宅地状況確認シート」によりチェックをしていただき、以下の連絡先までFAXいただけますようお願い致します。

敷地に変状のあるなしに関わらず、ご提出をお願い致します。

#### 【地震による敷地の変状に関するお問合せ】

地盤解析部 TEL 03-5624-1547

FAX 03-5624-2929

#### 2. 地盤サポートシステムのお申込（地盤調査手配）や地盤補強工事に関して、弊社支店に連絡が取れない場合について

弊社東京本社では、平常通りの営業を再開しておりますが、東北支店（仙台）、盛岡営業所、郡山営業所につきましては、依然として電話による営業活動以外の業務が再開できていない状況です。そのため、地盤調査の手配や、地盤改良工事の手配に関するお問合せにつきましては、東京本社にて対応させていただきますので、お手数ですが以下の連絡先までご連絡をお願い致します。

#### 【地盤調査の手配（地盤サポートシステムのお申込）に関するお問合せ】

カスタマーサービス部 調査G

TEL 03-5624-2666

#### 【地盤補強工事に関するお問合せ】

カスタマーサービス部 工事G

TEL 03-5624-1887

### 3. 震災技術相談窓口の設置について

お客様（ビルダー様）からの、地震に関する技術的なお問合せが増えていることを踏まえ、弊社内に地震災害に伴う地盤の技術的な相談をお寄せいただく窓口を設置することと致しました。

地震災害に伴う地盤の技術的な相談がございましたら、以下の窓口までご連絡をいただけますようお願い致します。

#### 【地震に伴う地盤の技術的な相談について】

震災技術相談窓口（お客様相談室内）

TEL 03 - 5624 - 1546

### 4. 「地盤調査報告書」、「品質保証書」の発行・発送の遅れについて

地震に伴う東京電力の計画停電および交通事情悪化の影響により、「地盤調査報告書」、「品質保証書」の発行について、遅れが発生しております。誠に申し訳ありませんが、事情をご推察の上、ご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

なお、「地盤調査報告書」につきましては、弊社の無料Webサービス【地盤モール】( )をご利用いただくことで、製本された「地盤調査報告書」が到着する前でも、「地盤調査報告書」をWeb上でご確認いただくことができます。

- 1 【地盤モール】(旧ビルダーReport)にお申し込んでおりますJHS登録加盟店様向けのサービスです。
- 2 ご登録いただくには、弊社HP内の「地盤モール」利用申込ページより、ご登録手続きをお願い致します。  
<お申込ページのURL>  
<http://www.j-shield.co.jp/support/01.htm>
- 3 ご登録手続きにより発行されるID・パスワードについて、通常はご本人確認のため、郵送によるご登録住所への発送としておりますが、地震によりお届けに時間がかかることから、4月までの期間限定で、ご登録番号へのFAX送信（お申込から3営業日以内）とさせていただきます。なお、ご登録のFAX番号以外へは送信できません。

#### 【地盤モールについて】

営業サポート課 TEL 03 - 5624 - 1545

弊社営業時間： 月～金 9：00～18：00 土日祝日 休日
--------------------------------

以上

# 東北地方太平洋沖地震等被災エリア<sup>※1</sup>における 地盤サポートシステムのお取扱いについて



ジャパンホームシールド 株式会社

## これから申し込いただく物件

宅地の状況	対応	必要な手続き
変状 <sup>※2</sup> なし	通常申込をして下さい。	通常の申込み書類の提出
変状あり	必要な現況測量とGLの再設定、地表面の整地等行い、調査可能な事を確認の上、申してください。	通常の申込み書類の提出

## 地盤調査済の物件

地盤サポートシステム適用の継続の為、下記必要な手続きをお願いいたします。

### ◆ケース1 調査済みで未解析の場合

宅地の状況	対応	必要な手続き(追加提出書類)
変状なし	必要な手続き(右記)を行ってください。変状が無い事を確認の上、建築を継続してください。	①地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートの提出 ②宅地状況の写真撮影 <sup>※3</sup> (ビルダー様保管)
変状あり	地盤状況の変化を確認するために地盤調査が必要となります。なお、GL設定に変更が無い事をご確認ください。	①改めて地盤調査の申込み <sup>※4</sup>

### ◆ケース2 解析済みの物件(直接基礎の判定もしくは補強工事施工前)

宅地の状況	対応	必要な手続き(追加提出書類)
変状なし	必要な手続き(右記)を行ってください。変状が無い事を確認の上、補強工事又は建築を継続してください。	①地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートの提出 ②宅地状況の写真撮影 <sup>※3</sup> (ビルダー様保管)
変状あり	地盤状況の変化を確認するために地盤調査が必要となります。なお、GL設定に変更が無い事をご確認ください。	①改めて地盤調査の申込み <sup>※4</sup>

### ◆ケース3 補強工事施工済で基礎着工前の場合

宅地の状況	対応	必要な手続き(追加提出書類)
変状なし	必要な手続き(右記)を行ってください。変状が無い事を確認の上、建築を継続してください。	①地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートの提出 ②宅地状況の写真撮影 <sup>※3</sup> (ビルダー様保管)
変状あり	地盤状況の変化を確認するために地盤調査と、補強工事の仕上がりレベルが変化していない事を確認した上での判断となります。なお、地盤状況やレベルに変化が有る場合には、補修や追加工事をお願いする可能性もございます。	①改めて地盤調査の申込み <sup>※4</sup> ②地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートの提出 ③仕上がりレベルの確認<地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートに記入>

### ◆ケース4 基礎が完成している場合

宅地の状況	対応	必要な手続き(追加提出書類)
変状なし	必要な手続き(右記)を行ってください。変状が無い事を確認の上、建築を継続してください。	①地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートの提出 ②宅地状況の写真撮影 <sup>※3</sup> (ビルダー様保管)
変状あり	地盤状況の変化を確認するために地盤調査と、基礎に亀裂傾きなどの変状が無いかを確認した上での判断となります。なお、地盤状況やレベル、基礎状況に変化が有る場合には、補修や修復工事をお願いする可能性もございます。	①改めて地盤調査の申込み <sup>※4</sup> ②地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートの提出 ③基礎天端レベルの測量<地震後(震度5以上)の宅地状況確認シートに記入>

※1被災エリアとは…気象庁発表の震度5弱以上が観測されたエリアとします。

(震度5弱は気象庁の震度階級解説によると、亀裂や液状化が生じる事があるとされる階級です)

※2変状とは…液状化、陥没、地盤の波打ち、擁壁の亀裂、斜面の崩壊、隣接構造物の亀裂や損壊などが当該宅地または周辺地(半径50m程度)での確認状況となります。

※3状況写真について…状況写真をJHSが求めた場合、提出できるように品質保証期間中はビルダー様で保管願います

※4地盤調査にあたり…既に送っていただいた申込書に、地震による再調査と明記いただきお申込みください。

図面等変更が無ければ申込書のみで結構です。

## 地震後(震度5以上)の宅地状況確認シート



加盟店名	
物件番号	
物件名称	
物件住所	
確認した日	年 月 日
確認を行った方	
進捗状況	<input type="checkbox"/> ケース1 <input type="checkbox"/> ケース2 <input type="checkbox"/> ケース3 <input type="checkbox"/> ケース4 <small>(別紙、地盤サポートシステムのお取扱いについての案内をご覧ください)</small>

確認者

必ずご捺印ください

※上記枠内を必ずご記入ください。

該当する方に○ 該当しない場合は-

確認していただく項目		有	無	詳細情報※1
宅地や周辺の状況	近接構造物(擁壁・壁など)の変状の有無 (亀裂・滑動・損壊・倒壊・天端や通りの波打ちなど)			該当変状: 変位置量(          cm)
	隣接道路路面の変状の有無 (アスファルト路面の亀裂・陥没・波打ちなど)			該当変状: 変位置量・陥没(          cm)
	隣接道路構造面の変状の有無 (マンホール浮き上がり・ガードレールの波打ち・側溝の波打ち)			該当変状: 変位置量(          cm)
	周辺※2構造物の変状の有無 (電柱・標識・看板などの傾斜)			該当変状:
	周辺の家屋の変状の有無 (地震の影響と思われる新しい亀裂や損壊などで、地震前からの古い変状及び、築30年以上と想定される家屋は除きます)			該当変状:
	周辺の地盤沈下・陥没の有無			該当変状: 変位置量(          cm)
	周辺の液状化※3の有無			該当変状:
	建築予定地法面(斜面)の崩壊の有無			該当変状: 法高・斜面高(          cm)
	建築予定地、地表面の変状の有無 (液状化・陥没・隆起・地盤の波打ちなど)			該当変状: 変位置量(          cm)
建設物の状況 (建築中)	地盤補強工事施工済みの改良体(杭など)の変状の有無 (亀裂・ひび割れ・欠損・杭頭レベルの変異)			該当変状: 変位置量(          cm)
	地盤補強部と地盤との間より砂や地下水が噴出の有無 している。(改良体横に砂山や水溜りなどが発生)			該当変状:
	基礎構造体の変状(亀裂・傾斜変形・損壊など)			該当変状: 傾斜・変形角(   /1000 ) 変位置量(          cm)
	基礎構造体周りの地盤変状(液状化・陥没・崩壊など)			該当変状: 変位置量(          cm)

※1 詳細情報について

- ・確認項目に該当する変状(液状化、陥没、地盤の波打ち、擁壁の亀裂、斜面の崩壊、隣接構造物の亀裂や損壊など)を記載してください。
- ・確認項目で計測できる物はその測定数値を記載してください。
- ・発生箇所が写真などで不明瞭になる場合は、住宅地図などに変状位置を記載

※2 周辺について

建築予定地を中心に半径50m程度

※3 液状化現象について

液状化が発生すると地表面では地盤の波打ち、地盤から砂や地下水が噴出する現象が顕著に見られ、地盤陥没やマンホールの浮き上がりなどが発生します。このような現象の有無が判断の目安となります。

地震により現状地盤に変状が出ている可能性があります。工事を安全に進める為に建築着手・進行前に必ず確認、ご返送をお願いします。

地震後(震度5以上)の宅地状況確認シート



加盟店名	ジャパン両国建設(株)
物件番号	S2011000000
物件名称	両国花子
物件住所	東京都×××
確認した日	2011年 3月 16日
確認を行った方	両国太郎
進捗状況	<input type="checkbox"/> ケース1 <input type="checkbox"/> ケース2 <input type="checkbox"/> ケース3 <input checked="" type="checkbox"/> ケース4 (別紙、地盤サポートシステムのお取扱いについての案内をご覧ください)



必ずご捺印ください

※上記枠内を必ずご記入ください。

該当する方に○ 該当しない場合は-

確認していただく項目		有	無	詳細情報※1
宅地や周辺の状況	近接構造物(擁壁・壁など)の変状の有無 (亀裂・滑動・損壊・倒壊・天端や通りの波打ちなど)	○		該当変状: 滑動・亀裂有 亀裂は0.5cmの亀裂有 変位量(滑動 2 cm)
	隣接道路路面の変状の有無 (アスファルト路面の亀裂・陥没・波打ちなど)	○		該当変状: アスファルト路面の陥没 変位量・陥没( -2 cm)
	隣接道路構造面の変状の有無 (マンホール浮き上がり・ガートレールの波打ち・側溝の波打ち)	○		該当変状: マンホールの浮き上がり 変位量( +15 cm)
	周辺※2構造物の変状の有無 (電柱・標識・看板などの傾斜)		-	該当変状:
	周辺の家屋の変状の有無 (地震の影響と思われる新しい亀裂や損壊などで、地震前からの古い変状及び、築30年以上と想定される家屋は除きます)		-	該当変状:
	周辺の地盤沈下・陥没の有無	○		該当変状: 道路の陥没・隣地の地盤沈下 変位量( 2 cm)
	周辺の液状化※3の有無	○		該当変状: 道路及び隣地より填砂あり
	建築予定地法面(斜面)の崩壊の有無		-	該当変状: 法高・斜面高( cm )
	建築予定地、地表面の変状の有無 (液状化・陥没・隆起・地盤の波打ちなど)			該当変状: 地盤より填砂・陥没有 変位量( -5 cm)
建設物の状況 (建築中)	地盤補強工事施工済みの改良体(杭など)の変状の有無 (亀裂・ひび割れ・欠損・杭頭レベルの変異)		-	該当変状: 変位量( -5 cm)
	地盤補強部と地盤との間より砂や地下水が噴出の有無 している。(改良体横に砂山や水溜りなどが発生)		-	該当変状:
	基礎構造物の変状(亀裂・傾斜変形・損壊など)	○		該当変状: 北西の角に向かって傾斜している 傾斜( 3 / 1000 ) 変位量( 5 cm)
	基礎構造周りの地盤変状(液状化・陥没・崩壊など)	○		該当変状: 基礎際より砂・水が噴出・陥没有 変位量( 5 cm)

※1 詳細情報について

- ・確認項目に該当する変状(液状化、陥没、地盤の波打ち、擁壁の亀裂、斜面の崩壊、隣接構造物の亀裂や損壊など)を記載してください。
- ・確認項目で計測できる物はその測定数値を記載してください。
- ・発生箇所が写真などで不明瞭になる場合は、住宅地図などに変状位置を記載

※2 周辺について

建築予定地を中心に半径50m程度

※3 液状化現象について

液状化が発生すると地表面では地盤の波打ち、地盤から砂や地下水が噴出する現象が顕著に見られ、地盤陥没やマンホールの浮き上がりなどが発生します。このような現象の有無が判断の目安となります。

地震により現状地盤に変状が出ている可能性があります。工事を安全に進める為に建築着手・進行前に必ず確認、ご返送をお願いします。